

令和7年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

| | |
|-------|--|
| 報告市議会 | 泉大津市議会 |
| 報告者 | 議長 大塚英一 副議長 村田雅利 事務局長 橋本幸男 |
| 視察日時 | 令和7年8月6日(水) 13:00～15:00 |
| 視察先 | 神奈川県茅ヶ崎市 |
| 視察内容 | 議会改革の取組みについて |
| 概要 | <p>令和7年8月6日から7日までの2日間、大阪府南部市議会議長会先進都市視察として神奈川県茅ヶ崎市及び同県横須賀市にお伺いさせていただいた。</p> <p>初日は、茅ヶ崎市議会を訪問し、議会改革の取組みを学ばせていただいた。</p> <p>同市は、神奈川県中南部、東経139度24分、北緯35度19分に位置し、東京から西に50kmあまりで面積は35.7km²、東西6.94km、南北7.60kmで、周囲は30.4kmに及んでいる。年間の平均気温も摂氏17度と自然に恵まれており、明治時代後半から戦前にかけては、湘南有数の別荘地であった。</p> <p>同市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査ランキング2024にて、関東地方5位、全国20位になるなど、議会改革における先進都市として高い評価を受けている。</p> <p>当日は、岸議長、早川副議長及び角田議会事務局長から歓迎の挨拶を受けた後、藤原議会事務局議事担当主幹、須藤同議事担当次長補佐及び小玉同総務担当次長補佐からそれぞれ「政策提言について」、「決算審査での事業報告の実施について」、「議会報告会・意見交換会について」の説明を受けた。</p> |
| 所見 | <p>まず、「政策提言について」、茅ヶ崎市議会では、茅ヶ崎市議会基本条例第16条において、政策討議として、「議会は、市政に関する重要な政策又は課題について、議会としての共通認識の醸成を図るため、討議の機会を設けるものとする。」と謳われている。</p> <p>この政策討議の運用については、議長の諮問に応じて議会の課題について検討する組織である「議会制度検討会」において検討がなされたとのことであった。</p> <p>茅ヶ崎市議会では4つの常任委員会があり任期は2年として、それぞれの委員会で政策討議を任期中の2年間をかけて行い、政策提言素案を各常任委員会が作成し、その後全員協議会での協議の後、議会として政策提言書を提出すると説明があった。</p> <p>各常任委員会では、合意形成を図るため、任期中に30回程度協議を行い、多数決ではなく全員が納得する形にまで昇華させたと説明があり、市議会として政策提言を行なっていくという強い意志を感じた。</p> <p>泉大津市議会は現在常任委員会の1年で運用しており、先進事例である茅ヶ崎市議会と参考にし、本市議会においても、政策提言ができるよう調査研究を行っていきたいと考える。</p> <p>次に、「決算審査での事業報告の実施について」は、同市議会では決算審査特別委員会のもとに4つの常任委員会をベースとした分科会を置き、その中で決算事業評価を行なっているものである。</p> <p>評価シートを基に作成された事業評価は、決算審査特別委員会委員長から議長に報告され、本会議での委員長報告の後、定例会終了後、議長が評価結果を市長に通知する。</p> <p>また、評価結果の反映状況については、次年度の予算編成等事務が終了後に、市長から議長へ報告書が提出されるものである。</p> <p>実際に、当該事業評価を受け、次年度の予算額が増額になったというケースもあり、決算審査を重視する茅ヶ崎市議会の取組みは大変参考になった。</p> <p>その他、同市議会は、ユーチューブチャンネル等を展開するなど、開かれた議会としての取組みに敬意を表するとともに、本市議会として、今後検討していく必要性を感じた。</p> |